

江田島市地域経済動向調査（令和7年8月）

■全国の景況

◇月例経済報告（令和7年7月号より）

『景気は、米国の通商政策等による影響が一部にみられるものの、緩やかに回復している。』

- ・個人消費は、消費者マインドの改善に遅れがみられるものの、雇用・所得環境の改善の動きが続く中で、持ち直しの動きがみられる。
- ・設備投資は、持ち直しの動きがみられる。
- ・輸出は、おおむね横ばいとなっている。輸入は、持ち直しの動きがみられる。貿易・サービス収支は、赤字となっている。
- ・生産は、横ばいとなっている。
- ・企業収益は、改善しているが、通商問題が及ぼす影響等に留意する必要がある。企業の業況判断は、おおむね横ばいとなっている。倒産件数は、おおむね横ばいとなっている。
- ・雇用情勢は、改善の動きがみられる。
- ・国内企業物価は、このところ上昇テンポが鈍化している。消費者物価は、上昇している。

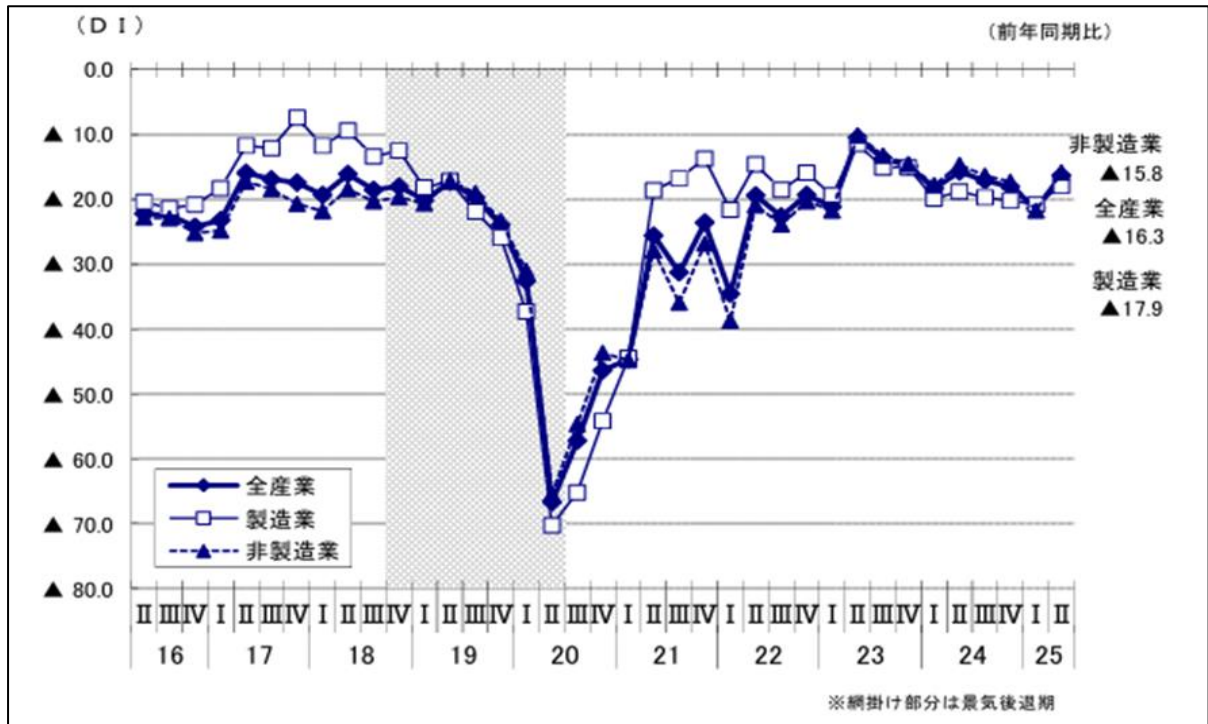
『先行きについては、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えることが期待されるが、米国の通商政策の影響による景気の下振れリスクには留意が必要である。加えて、物価上昇の継続が消費者マインドの下振れ等を通じて個人消費に及ぼす影響なども、我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、金融資本市場の変動等の影響に引き続き注意する必要がある。』

◇中小企業景況調査（2025年4～6月より）

『中小企業の業況判断D Iは、4期ぶりに上昇した。』

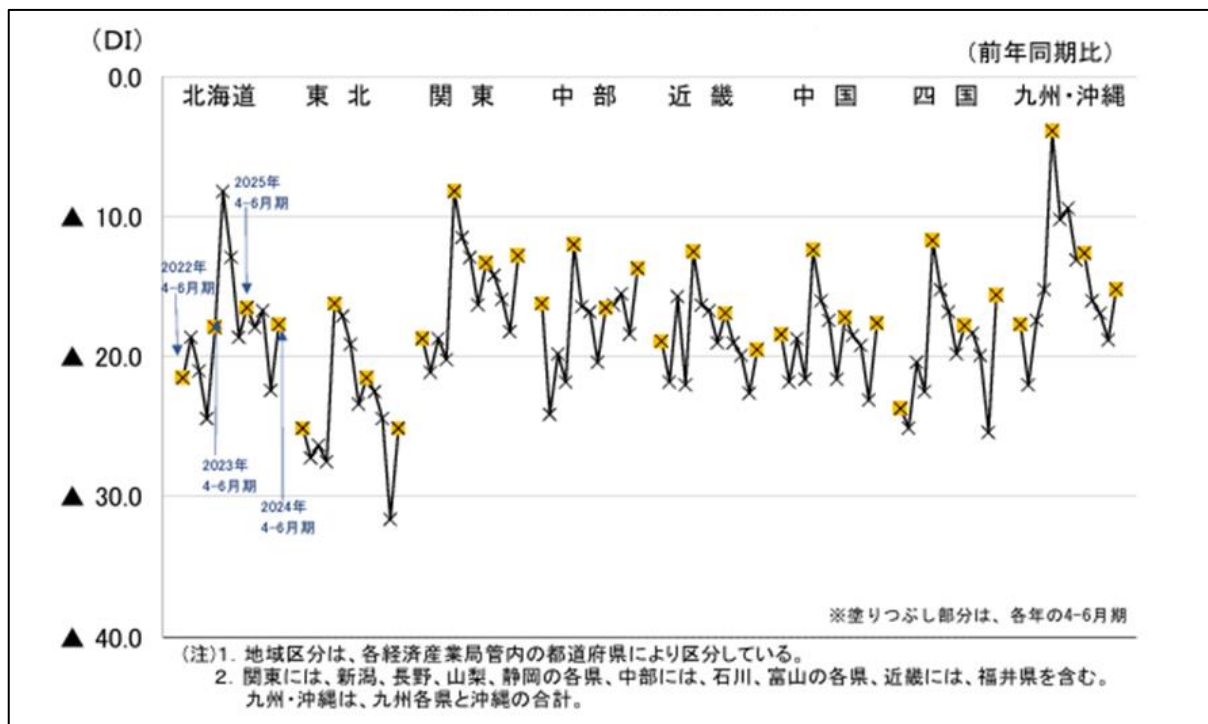
- ・2025年4－6月期の全産業の業況判断D I I（「好転」－「悪化」）は、▲16.3（（前期▲21.4、前期差5.1ポイント増）と上昇し、4期ぶりにマイナス幅が縮小した。
- ・製造業の業況判断D Iは、▲17.9（前期▲20.8、前期差2.9ポイント増）と上昇し、4期ぶりにマイナス幅が縮小した。
- ・非製造業の業況判断D Iは、▲15.8（前期▲21.7、前期差5.9ポイント増）と4期ぶりにマイナス幅が縮小した。

図表1 中小企業の業況判断 (2025年4月～6月期)



- ・地域別の業況判断DI（全産業）は、四国、東北、中国、関東、北海道、中部、九州・沖縄、近畿のすべての地域でマイナス幅が縮小した。

図表2 中小企業の地域別業況判断DIの推移（全産業）
(2022年4月～6月期～2025年4月～6月期)



■広島県の景況

◇広島県内経済情勢報告（令和7年7月）

『県内経済は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復しつつある』

・個人消費：一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復しつつある」

業態別にみると、百貨店販売は、低気温の影響により夏物衣料などが不調で、前年を下回っている。スーパー販売は、調理が簡便な冷凍食品などが好調で、前年を上回っている。ドラッグストア販売は、花粉症対策関連商品などが好調で、前年を上回っている。コンビニエンスストア販売は、話題性のある商品などが好調で、前年を上回っている。乗用車販売（新車登録・届出台数）は、自動車認証不正取得問題の影響から回復しつつあり、前年を上回っている。このように、個人消費は、全体では、一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復しつつある。

・生産活動：「横ばいの状況にある」

輸送機械は、造船で新燃料船の建造需要が増加し、数年先まで手持ちの工事量を確保できていることなどから、増加している。一般機械は、海外向けの需要が回復傾向にあることから、増加している。プラスチック製品は、車載向けの需要が堅調であることなどから、増加している。鉄鋼は、自動車向けの需要が堅調であることなどから、増加している。電気機械は、EV市場が減速している影響により半導体の受注が伸び悩んでいることなどから、減少している。このように、生産活動は、全体では、横ばいの状況にある。

・雇用情勢：「緩やかに改善しつつある」

新規求人数は、前年を下回っているものの、有効求人倍率は、緩やかに上昇している。また、企業の人手不足感は、法人企業景気予測調査（7年4-6月期）の従業員数判断BSIでみると、前期に比べて「不足気味」超幅は縮小しているものの、「不足気味」超が続いている。このように、雇用情勢は、緩やかに改善しつつある。

・設備投資：「7年度は前年度を下回る見込み」

○製造業では、「食料品」などで減少するものの、「その他製造」、「生産用機械」などで増加することから、全体では前年度を上回る見込みとなっている。

○非製造業では、「金融・保険」などで増加するものの、「電気・ガス・水道」、「運輸・郵便」などで減少することから、全体では前年度を下回る見込みとなっている。

・企業収益：「7年度は減益見込み」

○製造業では、「その他製造」などで増益となるものの、「生産用機械」、「自動車」などで減益となることから、全体では減益見込みとなっている。

○非製造業（除く「電気・ガス・水道」、「金融・保険」）では、「小売」、「農林水産」などで増益となるものの、「情報通信」、「学研究・専門・技術サービス」などで減益となることから、全体では減益見込みとなっている。

・企業の景況感：「『下降』超に転じている」

企業の景況判断BSIは、「下降」超に転じている。なお、先行きは「上昇」超に転じる見通しとなっている。

・住宅建設：「前年を上回る」

新設住宅着工戸数でみると、分譲住宅、持家が減少しているものの、給与住宅、貸家が増加していることから、前年を上回っている。

・輸 出：「前年を下回る」

輸出（円ベース）は、一般機械が増加しているものの、自動車、鉄鋼などが減少していることから、前年を下回っている。地域別では、アフリカで増加しているものの、西欧、北米などで減少している。

なお、輸入（円ベース）は、石炭、鉄鉱石などが減少していることから、前年を下回っている。地域別では大洋州、中東欧・ロシア等で減少している。

図表3 広島県の主要経済指標

	鉱工業生産指数 (季節調整値) (2015年=100)		電力需要 実績 伸び率 前年比	百貨店・ スーパー 販売額 伸び率 前年比	乗用車 新車登録・ 届出台数 前年比	消費者 物価指数 伸び率 前年比 (広島市)	新設住宅着工戸数 伸び率、前年比			公共工事 請負金額 伸び率 前年比
	指数	前月(年)比					戸数合計	持家	貸家	
2021年	92.9	3.9	△ 1.0	△ 0.6	△ 4.2	△ 0.4	11.0	9.2	14.7	※△ 8.6
22	97.5	5.0	2.7	2.3	△ 6.1	2.7	0.9	△ 14.9	17.4	※ 8.9
23	94.4	△ 3.2	△ 0.6	3.1	16.2	3.3	△ 2.5	△ 8.9	△ 6.1	※ 0.2
24	93.6	△ 0.8	△ 1.0	△ 0.8	△ 7.6	2.6	△ 11.2	△ 0.9	△ 11.4	※△ 10.2
24年 1～3月	93.7	△ 1.5	△ 2.8	0.8	△ 23.0	2.2	△ 30.4	△ 6.9	△ 37.2	7.2
4～6	98.4	5.0	△ 0.7	△ 1.8	△ 9.9	2.5	△ 9.6	1.3	△ 10.2	△ 23.7
7～9	92.5	△ 6.0	0.3	△ 1.6	4.0	2.8	△ 5.6	△ 13.9	△ 2.4	△ 13.0
10～12	90.4	△ 2.3	△ 1.0	△ 0.8	2.0	3.0	5.1	19.2	9.4	△ 1.3
25年 1～3	90.4	0.0	3.1	0.5	20.6	4.0	26.1	3.3	46.0	10.6
24年 4	96.9	4.9	2.8	△ 5.3	△ 11.9	2.0	19.0	2.9	5.9	22.5
5	108.2	11.7	△ 1.1	△ 1.3	△ 9.9	2.7	△ 24.7	△ 9.0	△ 20.3	35.3
6	90.0	△ 16.8	△ 3.5	1.1	△ 8.1	2.8	△ 18.1	9.4	△ 16.1	△ 58.5
7	97.9	8.8	△ 0.0	△ 5.2	6.3	2.7	15.2	△ 17.6	31.3	11.1
8	92.9	△ 5.1	△ 0.4	0.4	0.1	3.0	△ 16.7	△ 21.4	△ 26.6	△ 34.2
9	86.7	△ 6.7	1.3	0.6	4.9	2.8	△ 11.5	△ 0.8	△ 1.4	△ 18.9
10	91.3	5.3	△ 1.5	△ 3.6	11.1	2.1	△ 9.3	16.5	△ 26.3	0.2
11	92.3	1.1	△ 0.0	0.9	△ 2.1	3.1	2.2	26.6	22.2	△ 2.6
12	87.6	△ 5.1	△ 1.3	0.1	△ 3.8	3.9	22.7	14.7	42.1	△ 2.2
25年 1	89.1	1.7	4.3	0.7	22.8	4.0	11.6	△ 11.1	△ 12.6	△ 21.5
2	97.0	8.9	3.0	△ 2.3	22.4	3.9	△ 11.3	△ 6.7	7.0	△ 24.1
3	85.1	△ 12.3	1.8	2.7	17.5	4.0	70.9	23.1	152.0	51.8
4	P 93.3	9.6		2.2	11.1	4.3	16.2	△ 29.2	△ 32.9	△ 23.1
5				1.6	8.9	3.8	△ 27.0	△ 40.9	△ 7.9	43.4
調査機関	広島県統計課		資源エネルギー庁	中国経済産業局	中国運輸局 自動車検査協会	総務省	国土交通省			西日本建設業保証

(注) Pは速報値、鉱工業指数の暦年値は原指数。電力需要実績は特別高圧(大規模工場やデパート、オフィスビル)と高圧(中小ビルや中小規模工場)の合計値。百貨店・スーパー販売額の伸び率は店舗調整値、公共工事請負金額と有効求人倍率の※は年度、所定外労働時間は事業所規模5人以上。

	有効求人 倍率 (倍)	常用雇用指数 (2020年=100)		所定外 労働時間 伸び率 前年比	銀 行		でんさい発生記録請求		企業倒産 (負債1千万円以上)	
		指数	前年比		実質預金 (億円)	貸出金 (億円)	件数 (件)	金額 (億円)	件数 (件)	負債総額 (百万円)
2021年	※ 1.38	99.6	△ 0.4	8.6	※ 178,945	※ 124,843	111,037	5,167	106	17,021
22	※ 1.57	100.9	1.3	△ 0.7	※ 183,591	※ 131,090	132,860	6,568	106	31,015
23	※ 1.53	103.5	2.6	△ 1.8	※ 190,331	※ 135,625	157,177	7,658	157	17,049
24	※ 1.43	103.1	△ 0.4	△ 4.9	※ 192,847	※ 139,773	186,092	8,449	200	51,443
24年 1～3月	1.51	101.7	0.6	△ 6.9	190,331	135,625	43,091	1,916	54	24,357
4～6	1.45	103.8	△ 0.6	△ 3.5	192,655	136,699	44,905	2,108	52	6,626
7～9	1.43	104.2	△ 0.5	△ 2.3	191,299	137,958	46,506	2,067	43	15,673
10～12	1.40	102.5	△ 1.1	△ 6.0	192,503	139,923	51,590	2,358	51	4,787
25年 1～3	1.43	99.5	△ 2.2	△ 3.6	192,847	139,773	53,445	2,373	42	3,744
24年 4	1.49	103.5	△ 0.5	△ 8.0	190,436	134,912	15,052	726	18	1,156
5	1.44	103.9	△ 0.7	△ 1.0	193,054	135,866	15,134	742	20	2,925
6	1.43	104.0	△ 0.6	△ 2.9	192,655	136,699	14,719	640	14	2,545
7	1.44	104.4	△ 0.5	1.0	192,243	138,133	15,666	722	20	1,128
8	1.43	104.2	△ 0.5	△ 4.0	192,239	137,775	15,720	700	9	12,045
9	1.42	104.1	△ 0.5	△ 3.8	191,299	137,958	15,120	645	14	2,500
10	1.43	103.2	△ 1.4	△ 4.5	191,615	138,581	16,749	757	19	920
11	1.40	103.0	△ 1.3	△ 4.5	192,904	139,054	17,119	780	17	1,489
12	1.38	101.3	△ 0.5	△ 8.2	192,503	139,923	17,722	821	15	2,378
25年 1	1.40	100.1	0.1	△ 2.0	190,645	139,743	17,894	829	11	1,470
2	1.44	99.9	△ 2.8	△ 6.7	190,445	139,877	17,067	731	19	1,514
3	1.46	98.5	△ 3.7	△ 1.9	192,847	139,773	18,484	813	12	760
4	1.48	99.0	△ 4.3	3.8	193,689	140,288	19,371	918	17	1,602
5	1.45				195,142	140,616	19,608	866	16	1,648
調査機関	広島労働局	県 統 計 課			日本銀行広島支店		全銀電子債権ネットワーク		帝国データバンク広島支店	

(注) 有効求人倍率の※は年度で原数値、年度及び四半期の数値は月平均。銀行は国内銀行、信金の合計。実質預金、貸出金は月末残高、四半期は期末残高、年次値の※は年度。

■江田島の景況

◇中小企業景況調査（令和7年8月）

『江田島の景況は、全国の及び広島県の情勢を大きく下回っていると思われる。』

中小企業景況調査より、2025年4月～6月の景況判断状況は次のとおりである。

- ・2025年4月～6月期の広島県の全産業の業況判断D Iは▲19.1であり、全国と比較して、2.6ポイント低くなっている。
- ・江田島の数値は15社分の集計結果であり、参考値としてみていただきたいが、D Iは▲52.9であり、全国値及び広島県値よりも非常に低い値となっている。

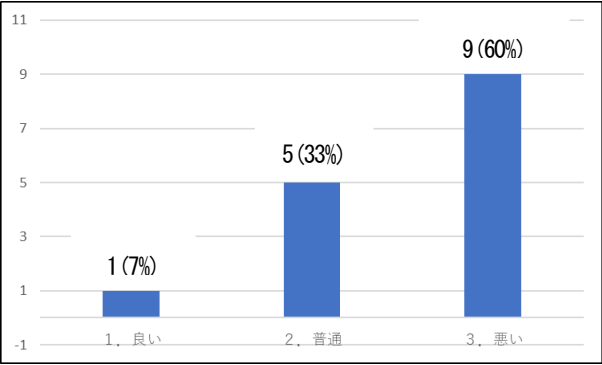
図表4 景況判断状況

(前期比)

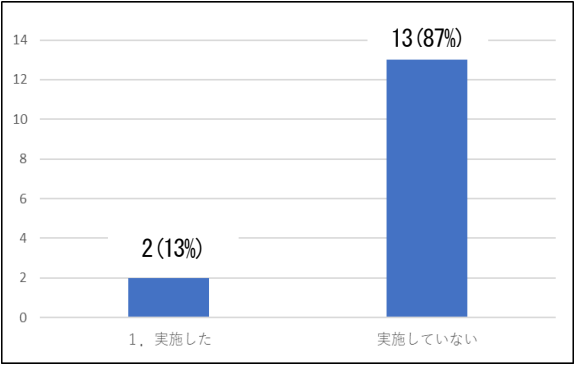
	2024年				2025年	
	1－3月	4－6月	7－9月	10－12月	1－3月	4－6月
全国	▲11.6	▲15.4	▲13.8	▲17.1	▲13.4	▲16.5
広島県	▲16.3	▲18.9	▲16.7	▲20.4	▲19.1	▲19.1
江田島市	▲53.3	▲46.7	▲46.7	▲73.3	▲53.3	▲52.9

- ・江田島市15社分の現在の景況感、設備投資状況は次のとおりである。

図表5 現在の景況感



図表6 2025年4月～6月の設備投資



- ・中小企業景況調査では、全国で18,841企業、江田島市商工会では15社が対象となっている。
- ・江田島市商工会調査においては、製造業では「生産設備の不足・老朽化」及び「原材料価格の上昇」、建設業では「材料価格の上昇」、小売業では「仕入単価の上昇」、ならびにサービス業では「材料等仕入単価の上昇」が経営上の問題点の1位となっている。

図表7 経営上の問題点

		経営上の問題点		
		1位	2位	3位
製造業	全 国	原材料価格の上昇	需要の停滞	従業員の確保難
	江田島市商工会	生産設備の不足・老朽化 原材料価格の上昇	熟練技術者の確保難	原材料費・人件費以外の経費の増加
建設業	全 国	材料価格の上昇	従業員の確保難	熟練技術者の確保難
	江田島市商工会	材料価格の上昇	民間需要の停滞	—
小売業	全 国	仕入単価の上昇	消費者ニーズの変化への対応	需要の停滞
	江田島市商工会	仕入単価の上昇	需要の停滞	販売単価の低下・上昇難
サービス業	全 国	材料等仕入単価の上昇	従業員の確保難	利用者ニーズの変化への対応
	江田島市商工会	材料等仕入単価の上昇	店舗施設の狭隘・老朽化	その他

◇保証月報（広島県信用保証協会月報）

江田島市内事業所の金融保証承諾及び保証債務残高の状況は次のとおりである。

- ・令和7年6月末時点の江田島市内中小企業の保証承諾件数は13件、金額は283百万円であり、前年同月比で件数は同じ、金額は前年を上回っている。
- ・令和7年6月末時点の江田島市内中小企業の保証債務残高は377件、金額は3,413百万円であり、件数、金額とも前年を下回っている。

図表8 保証状況（江田島市・広島県）

（単位：百万円）

	2024年6月				2025年6月			
	保証承諾		保証債務残高		保証承諾		保証債務残高	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
江田島市	13	181	406	3,898	13	283	377	3,413
広島県	3,524	48,263	70,394	742,610	2,884	34,796	68,949	697,535

以 上